

## ポートフォリオ資産形成 報告書 Portfolio Research Conclusions

当報告書は、海外積み立てによる資産形成状況を国際金融アドバイザー（大久保）が調査し記録したオリジナル資料です。複利運用は日々上下を繰り返しながら、長期で成長しています。安心して複利運用を99年間続けて頂くために、わからないこと等あれば、お気軽に何でもご相談ください。共に幸せな老後を迎えられるよう、今後も長期積立をサポートいたします。

To achieve a stable & medium level of capital return over the long-term through investing in a diversified portfolio with reasonable risk management. The portfolio may experience short to medium term capital fluctuations which will be managed within our expectation and acceptable boundary.

[Holder（運用者氏名）]: \_\_\_\_\_

[Policy No.#（契約書 No）]: \_\_\_\_\_

[Plan Term（複利運用期間）]: 99 Year [Payment Term（積立期間）]: 25 Year

[Credit Card No. / Expiry Date /Premium（積立に関する情報）]: xxxx-xxxx-xxxx-xxxx / xx-xx /

Holder	_____							世界情勢に応じて割合は変動し、 リスクを最小限に抑えます（後述）
Product Provider	_____		Plan Name (If applicable)					
Policy No.#	_____		Effective Date					2020-11-30
Currency	JPY	積立総額	Total Premium Paid					JPY 403,000.00
Fund Name	Price Date		Unit Balance	Unit Price	Unit Currency	Value	Value (JPY)	Weight %
BGF World Technology A2 Acc USD	2021-12-12	12.93	83.90	USD	1,085.16	123,091.96	31.53	
Fidelity Funds Sustainable Asia Equity A Acc USD	2021-12-12	29.76	33.52	USD	997.39	113,135.48	28.98	
MFS Meridian Emerging Markets Debt A1 Acc USD	2021-12-12	7.99	42.82	USD	342.30	38,828.06	9.95	
Polar Capital Healthcare Opportunities R USD	2021-12-12	16.52	61.56	USD	1,016.79	115,335.94	29.54	
					複利運用総額 (手数料引き後)		Total Current Value	430,391.44

### [複利運用状況サマリ（報告書作成時点）]:

積立総額は、¥403,000（00 銭）円に対して、複利運用総額は、¥430,391（44 銭）円です。これは複利運用に関わる手数料を、全て差し引いた後の金額になります。

現在は世界情勢の変動を受け上下しながら、平均的な成長スピードで複利運用が行われております。短期的に見ると元本割れになるケースもありますが、複利運用の効果をより実感して頂ける10年目以降まで長期分散積立を継続しましょう。

また、全てUSD（米国ドル）で運用が行われているので、将来的に高い確率で訪れる円安でより利益を得やすくなります。（例えば1ドル=100円が、1ドル=150円になると1ドルあたり50円の利益が得られます）

以下にポートフォリオ資産形成状況（詳細）を記載します。細かい運用状況になるので難しければお問い合わせください。

**【資産成長状況サマリ（報告書作成時点）】：**

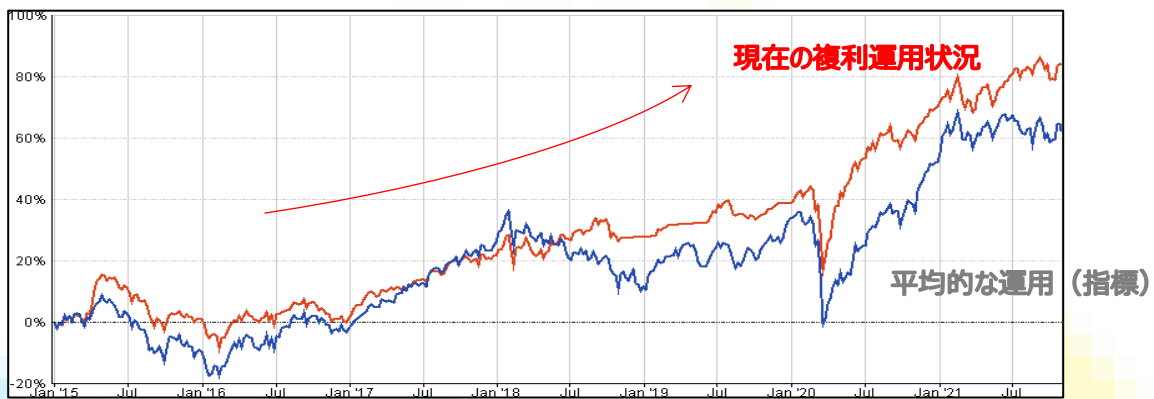
	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	YTD
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来
2021	0.05%	0.37%	-0.98%	3.34%	0.14%	2.66%	0.58%	1.57%	-2.81%	2.23%			7.22%
2020	0.95%	-4.37%	-5.13%	11.94%	4.43%	2.75%	4.12%	2.31%	-2.45%	-0.10%	5.32%	2.58%	23.39%
2019	1.56%	1.39%	0.19%	0.19%	0.01%	3.69%	1.02%	-2.22%	-0.74%	1.39%	1.80%	0.17%	8.65%
2018	4.83%	-2.73%	-1.50%	-0.03%	2.65%	0.76%	0.63%	5.29%	-0.23%	-4.77%	0.14%	0.16%	4.86%
2017	4.53%	2.64%	0.75%	0.81%	0.68%	1.76%	2.29%	1.87%	0.64%	0.51%	1.35%	0.27%	19.63%

順調に運用金額は年々増加して成長しています。ここで見て頂くポイントは右端の「YTD（年初来）」になります。年初来とは、その年の年始を0とした時に、現在どの程度成長リターンがあるかを示しています。

（例：2020年1月1日から2021年12月31日の時点で23.39%金額が増えたことになります）

また、世界株式成長の平均（インデックス）で7.0%前後とされていますので、大きく成長していることがわかります。

つまり毎年、年初来（YTD）がプラスであれば「毎年、複利運用でお金が殖えている」ことになります。



**【運用金額の変動の大きさ状況サマリ（報告書作成時点）】：**

Index (指数)	過去3年間の平均年率
BB U.S Corporate Bond BB (米国企業債券)	9.09%
HF VIPS Dynamic Portfolio * HF ダイナミック型* (これを運用しています)	11.69%
S&P 500 (S&P 500 指数)	21.56%
Nikkei 225 (日経平均指数)	23.32%

運用している金額の変動の大きさ = ボラティリティと言います。この値（%）が大きいほど、金額が世界情勢に応じて上がったり、下がったりします。一概に「ボラティリティが高い = 悪い」ということではありませんが、長期で安定的に積立複利運用を行う上では、10%前後が良いとされています。ボラティリティが高いと、いわゆるハイリスク・ハイリターンに近づくことになります。

報告書作成時点では、米国の代表的な指標（インデックス運用 SP500）や、日本の代表的な指標（日経平均）よりもボラティリティは低く、安心して長期運用できている状態であると判断できます。

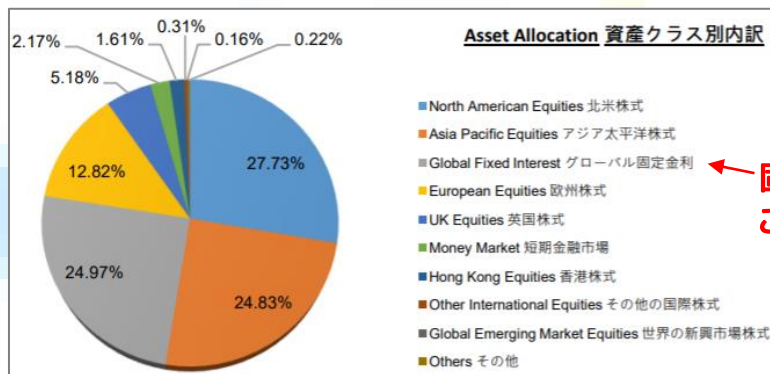
長期の複利運用で最も重要になるにはセミナーでもお伝えしたように「**分散投資**」になります。

米国 SP500 などのインデックス運用 1 本で老後対策としている方もいますが、「米国」・「株式」のみの運用なので長期的に見るとリスクは大きくなります。現在、あなたが積立複利運用されている先は「理想的なの分散投資」が行われています。

また、「世界的な金融情勢によって**投資先を 0.01%単位で、プロが細かくバランスを調整してくれる**」ため、より高いリターンを低いリスクで得ることができます。今回は、代表的な「**4つの分散**」で現在のあなたの運用状況を解説いたします。



**[あなたの複利運用している投資先：株式 or 債券/ 投資国（報告書作成時点）]：**



固定金利 = 「債券」です。  
これ以外のは「株式」

### ① 株式と債券のバランス

報告書作成現在、**株式（75%）：債券（25%）**に分散されています。（これも 0.01%単位で調整されます）



**「株式」** = 企業の成長を信じてお金を投資して、成長した分の配当（利益）を受け取るもの  
**「債券」** = 国や企業にお金を貸してあげて、一定期間後に少し利益をのせて必ず返済してもらうもの  
 （＝より低リスクだが、低リターン）



一般的に「**株式**」は景気が**良い時に大きく成長**しますが、その分コロナなどの不況で影響を受けやすい。  
 一方、「**債券**」は、成長率は大きくないが、不況時は大きく下がらない。**長期運用では、このバランスが重要！**

・・・実は、「債券」の中でも、「どこの国の債券？」「どこの企業の債券？」など、細かく調整されています。  
 （例えば、日本の債券に〇%、アメリカの債券に〇%、ソフトバンク株式会社に〇%など）

### ② 株式の投資国バランス

報告書作成現在、**米国が約 37%、アジアが約 33%、EU（イギリス含む）が約 25%**になります。  
 （上記の株式 75%を 100%とした時の割合です。難しかったら、お問い合わせくださいね）

3 大大陸である「米国・アジア・ヨーロッパ（欧州）」への**分散投資がしっかり、バランスよくできています。**

**[あなたの複利運用している投資先：企業（報告書作成時点）]：**

Top 5 Holdings 保有銘柄 トップ5	Weighting 保有比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	1.94%
MICROSOFT CORP	1.72%
ALPHABET INC	1.52%
NOVO-NORDISK AS	1.45%
AIA GROUP LTD	1.18%

**③ 投資企業のバランス**

現在の投資先トップ5の企業になります。すべて世界的な大企業で運用がされているのでどうぞご安心ください。この企業は世界情勢によって細かく調整されます。それによって、「より高いリターンを、より低いリスク」で複利運用することができます。ここが、インデックス運用（SP500 など）との大きな違いです。私が調べた範囲で簡単にご紹介。



**TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING**

…台湾に籍を置く半導体の企業です。世界的な半導体不足で大きな成長をしています。



**MICROSOFT CORP（マイクロソフト）、ALPHABET INC（Googleの親会社）**

…言わずと知れたコンピューターの超大企業です。これからの人類を牽引すると言っても過言ではない企業になります。



**NOVO-NORDISK AS（ノボ）**

…外資系製薬会社で世界的に見ても超大企業。コロナ関連でワクチン・治療薬分野で大きな成長をしています。

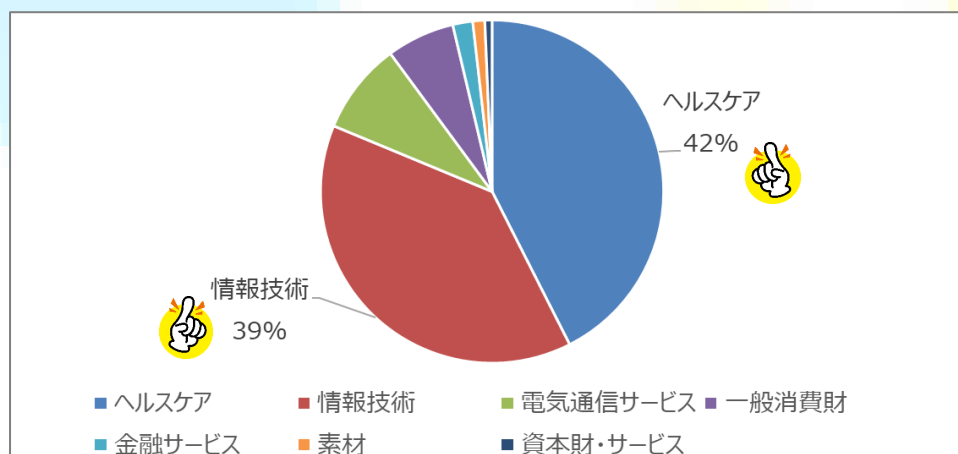


**AIA GROUP LTD**

…香港に籍を置く金融・生命保険の大企業。安定度を示す企業格付けはA1（TOYOTAと同水準になります）

上記以外の企業には、アップル、テスラ、ファイザー、サムスンなどの超大企業も含まれています。細かくなりすぎても混乱してしまうと思うので、この報告書ではここまでの解説で割愛させていただきます。詳細が気になる方は、個別にお問い合わせください。

**[あなたの複利運用している投資先：投資分野（報告書作成時点）]：**



**④ 投資分野のバランス**

報告書作成現在、ヘルスケア（健康）が約42%、情報通信技術が約39%と大半を占めています。コロナが世界的に流行している今、ヘルスケアが主力の企業や、在宅ワークなどを中心とした情報技術が主力の企業に分散投資ができていますので、とても良いバランスだと思います。また、より高いリターンを期待することができます。

以上、長くなってしまいましたが、「**複利運用の成長性**」(高リターン)と、「**4つの指標による分散**」(低リスク)は、とても良いバランスで複利・積立運用ができていると思います。

海外積立のメリットは、「**長期・積立・分散**」を「**複利**」の力で、「**99年間**」運用できることにあります。

短期的に見ると、元本を割ってしまい不安になることもあります。が、**長期的に見れば複利の効果で、右肩上がりに資産形成ができる**と確信しています。

**最も積立運用が失敗する原因は、「不安になること」です。**

誰だって自分が投資している先は大丈夫なのか、お任せしていいのか、騙されているのではないかなど、不安になります。それで途中解約してしまうことは、一番もったいないことであり、悲しいことです。

**もちろん大久保も毎月、同じ海外複利積立を行っています。信頼して積立を開始してくれた大切な人だからこそ、責任と自身をもって大切な老後を迎えるまで、サポートさせていただきますので、ご安心ください。**

不安なこと、クレジットカード番号の変更などの事務手続きなど、お気軽に下記 LINE からお問い合わせください。

(もちろん、一切のお金は頂かないのでご安心くださいね)

LINE ID : yaku3143



大久保(公式アカウント)

お気軽にお問い合わせください...>

CFP (Certified Financial Planner) /  
国際金融アドバイザー/  
JPEC 認定 薬剤師

莫大な奨学金に苦しみ、  
なんとなく手を出した「投資」で失敗。  
知人の紹介ではじめた「投機」で失敗。

そこから、海外で学んだ実践的な金融学を  
ベースに猛勉強、ようやくお金に振り回されない  
人生を手に入れました。

お金と正しく向き合ったい一心で、  
日本では学べない「知らないと損する  
お金の授業」を、全国で公演活動中。

日本中に「お金に関する正しい教育」をする「仲間」を募集しております。  
資格不要・経験不要です。私ひとりでは日本中に正しい知識・教育を届けることに限界があります。  
一緒に学びながら、目の前の大切な人に「将来のお金のこと」を伝えていきましょう。

詳細を聞くだけでも大歓迎！上記 LINE からお問い合わせください。👉

Record Issuance Authority Signature

E-mail: official.sys@pharmaclip.com

©, Medi Money Plus+ , All Rights Reserved